

スマホ用語辞典

スマートフォン（スマホ）を使っていると、いろいろな用語が登場します。

用語の中には日本語化してしまっているものもありますが、カタカナやアルファベットで書かれているため、意味が分かったつもりになっているものが多いのではないのでしょうか。

以下によく見かける用語、知っているとちょっと通になったつもりになれる用語を集めてその意味を解説します。

アルファベットの用語のよみは Google のように単語のものや SIM のように通称があるものはそのよみとし、その他は英字のよみとしてあります。

あ行		データ通信	5
アイコン	2	デバイス	5
アカウント	2	同期	5
アップデート	2	ドラッグ	5
アプリ	2		
インストール/アンインストール	2	は行	
インターネット	2	バイト	5
SMS (エスエムएस)	2	ピンチイン/ピンチアウト	5
OS (オーエス)	3	フリック	5
音声通信	3	バックアップ	5
オンライン/オフライン	3	バックグラウンド	6
		ブックマーク	6
か行		ブラウザ	6
キャリア	3	ホーム画面	6
QR (キューアール)	3		
QWERTY (クワーティ) キーボード	3	わ行	
		Wi-Fi (ワイファイ)	6
クラウド	3		
		数字	
さ行		3G、4G、5G	6
GPS (ジーピーエス)	4		
ショートカット	4		
SIM (シム) カード	4		
ストレージ	4		
スリープ	4		
スワイプ	4		
た行			
タップ	4		

あ行

アイコン

スマホのホーム画面に並ぶ小さな絵のこと。一つ一つがアプリや操作を表していて、押すことでアプリが開いたり、機能の画面が開いたりして利用できるようになります。

アカウント

インターネットのサービスを利用する際に、利用者を識別するための符号。IDとも呼ばれることがあります。多くのサービスは、アカウントにより利用者であるかどうかの判断をし、またアカウントに合わせた利用内容を提供します。多くのサービスは、アカウントと同時に登録されたパスワードをともに入力されたことで利用者の判断をしています。アカウントには電子メールアドレスが使用されることが多く、この電子メールアドレスへお知らせメールが送信されることがあります。

アップデート

スマホのアプリやOSを最新状態に更新すること。アプリやOSから通知されることもありますが、スマホが使用状態になっているときに自動で行われる場合もあります。

アプリ

スマホのホーム画面にあるアイコンを押すと開く、プログラムのこと。電話やカメラなどスマホを購入したときにすでに入っているものと、「Playストア」や「AppStore」などの専門ストアから自分でインストールするものがあります。

インストール/アンインストール

スマホにアプリを取り込んで使える状態にすること。すでに入っているアプリ以外のアプリを使いたいときは、「Playストア」や「AppStore」などの専門ストアから自分でインストールする必要があります。アプリを取り除くことをアンインストールといいます。購入した時に入っているアプリにはアンインストールができないものがあります。

インターネット

世界中のスマホやコンピュータなどの情報機器を相互につないでいるもの。スマホからは、直接インターネットへはつなげません。データ通信を使用してキャリアを通すか、Wi-Fiと光回線を使用してプロバイダーを通すことでインターネットへつながります。

SMS (エスエムエス)

お互いの電話番号を使用して短いメッセージをやり取りできる「ショートメッセージサービス (Short Message Service)」の略。相手のメールアドレスを知らなくても短いメッセージを送ることができます。現在は「+メッセージ」というサービスが使用でき、同じように電話番号を使用してより長く、また写真なども添付できるサービスがありますが、これはフューチャーフォン (ガラケー) では使用できません。

OS (オーエス)

スマホの基本機能を実行するプログラムのこと。iPhone は iOS (アイオーエス)、それ以外のスマホは Android (アンドロイド) という名前の OS が使用されています。OS が異なると使い勝手が異なります。

音声通信

スマホで音声通信とは、090・080・070 で始まる電話番号で音声をやり取りできる通信のことです。格安 SIM では音声通信ができないプランもありますので注意が必要です。LINE (Skype も) は無料音声通話ができますが、音声通信を利用しておらず、データ通信を利用しています。「LINE Out」の契約をすると電話番号後へも音声通話ができます。

オンライン/オフライン

スマホでは、インターネットへつながっている状態をオンライン、インターネットへつながっていない状態をオフラインといいます。また、インターネットサービスのサーバーに接続している場合をオンライン状態ともいいます。

か行

キャリア

携帯電話会社のこと。NTT ドコモ、KDDI (au)、ソフトバンクを 3 大キャリアといいます。無線電話回線を運営しているのは 3 大キャリアで、その他の携帯電話サービスを行っている会社は、無線電話回線を 3 大キャリアから借りているため「サブキャリア」と呼ばれています。

QR (キューアール) コード

2次元のバーコードの一種。スマホでは、特定のホームページへアクセスするときに QR コードを読み込むことでアクセスができるようなアプリがあります。

QWERTY (クワーティ) キーボード

クアーティ、クウェルティとも呼ばれるキーボードの配列の一種。右上のキーボードの文字を左から読むと「Q」「W」「E」「R」「T」「Y」と並んでいるため。パソコンのキーボードはほとんどこの配列ですが、スマホでは英字を入力するときに使用されている。

クラウド

インターネット上に設けられている「保管庫」のこと。スマホなどに保存されている写真やデータなどを預けられるサービスのこともクラウドという。この「保管庫」に預けておくと、インターネットにつなげるスマホやパソコンから同じ写真やデータが見られる。利用するにはアカウントが必要になります。

さ行

GPS (ジーピーエス)

人工衛星からの電波信号を受け取って現在の位置情報が得られるシステム。「Global Positioning System」の略。スマホではこれを使って地図アプリ上の自分の現在位置を確認することが可能となっています。人工衛星からの電波信号ですので、高いビルの谷間などの上空が開けていない場所では使用できないことがあります。

ショートカット

アクセスするための近道（ショートカット）の意味で、Android スマホでは「すべてのアプリ」画面のアプリアイコンとは別にホーム画面にショートカットアイコンを置いて利用する。

SIM (シム) カード

電話番号などの契約者情報が書き込まれた小さな IC カード。フィーチャーフォン（ガラケー）やスマホはこれを差し込まないと、携帯電話会社が運営する無線電話回線に接続できません。SIM カードには、音声通信・データ通信用、SMS ありデータ通信用、データ通信用があります。

ストレージ

写真や文書のデータを保管する場所。スマホにも内蔵されており、保管できる量を「32GB」や「64GB」と表現します。インターネット上に保管できる場所をクラウドストレージまたはオンラインストレージといいます。

スリープ

スマホの画面表示が消えている状態をいいます。画面は消えていますが、電源を切っている状態ではないので、電話がかかってきたりアプリからの通知があった時はこれを受け取ることができます。

スワイプ

スマホの画面を指に触れたままなぞるように指を動かすこと。ホーム画面のページを切り替えるときに使用する。アイコンに触れスワイプして目的の場所まで移動させることをドラッグと呼びます。

た行

タップ

画面を指でトンと 1 回軽くたたき動作。アプリの起動やメニューを選択するときに使用します。

データ通信

写真や文書、ウェブ検索などのデータを無線電話回線を通じてやり取りすること。音声通話以外の通信はデータ通信となります。LINE 電話はデータ通信を使用しています。

デバイス

「装置」を表す言葉です。パソコン、スマホ、フィーチャーフォン（ガラケイ）やこれらの周辺機器をデバイスといいます。

同期

パソコンとスマホ、スマホとクラウドのように、異なる装置に保存されているデータを同じ状態にすること。同期は、それぞれの装置が接続されたとき自動的に行われる場合と手動で指示をする場合とがあります。

ドラッグ

スマホの場合は、移動させたいアイコンなどを指で押してスワイプして移動先で指を離す動作。パソコンでは、移動させたいアイコンなどにポインターを移動させマウスのボタンを押したままある点から別の点まで移動させたのちボタンを離す操作。

は行

バイト

ファイルのサイズやデータの容量の大きさを表す基本単位。バイトの前にキロ⇒メガ⇒ギガ⇒テラを付けて大きさを千倍ずつに表す。スマホの料金プランに使われる「ギガ」は1か月に使用できるデータ通信の容量をいっている。

ピンチイン/ピンチアウト

2本の指で画面に触れ、指を閉じるようにする動作を「ピンチイン」、反対に押し広げるようにする動作を「ピンチアウト」といいます。地図アプリなどで表示を縮小/拡大するときに使用します。

フリック

画面に指に触れ払うようにする動作。携帯配列キーボードで文字を入力するときに使用します。

バックアップ

スマホ内のデータやファイルをクラウドストレージやパソコンなど別の場所にコピーしておくこと。万が一スマホのデータを消してしまったときやスマホを変えるときにデータを戻すことができます。必要なデータやファイルはバックアップを取っておきましょう。

バックグラウンド

スマホで画面に表示されていないアプリの動作が自動でおこなわれていること。

ブックマーク

しおりの意味です。頻繁に訪問する Web ページの URL を登録しておけるブラウザの機能。

ブラウザ

ウェブページを検索したり、ウェブページを表示するアプリ。画面の上にある細長いボックスに URL というウェブページの住所を入力して目的のウェブページを表示したり、検索したい単語などを入力して検索させ、表示されたウェブページの住所をタップして表示させたりできます。iPhone には Safari、Android スマホには Chrome があらかじめ入っています。

ホーム画面

ロック画面が解除されたときに表示される画面。複数のページを作成でき、スワイプで切り替えられます。アプリの画面で「ホームボタン」を押すまたはタップすることでこの画面を表示することができます。

Wi-Fi (ワイファイ)

近距離の無線ネットワーク。ネットワークの管理をする装置を「Wi-Fi ルータ」といいます。パソコンやスマホをインターネットにつなげるために使用します。無線ネットワークの規格は IEEE (アイトリプルイーと呼びます) という団体が策定していますが、この規格だけでは規格の読み方が異なりつながらない装置が発生するため、Wi-Fi アライアンスという業界団体が相互につながることを認めた装置を Wi-Fi と名付けて認証しています。IEEE の規格名では、最新規格がわかりづらいため Wi-Fi アライアンスは 2019 年より番号を付けることにし、現在の 802.11 n が「Wi-Fi 4」、802.11ac が「Wi-Fi 5」となります。

数字

3G (スリージー)、4G (フォージー)、5G (ファイブジー)

携帯電話会社が提供する無線電話回線の世代を表しています。「G」は「Generation (世代)」の頭の一文字を取っています。数字が大きくなるほど伝送容量が大きくなり、送信遅れも小さくなっています。2018 年現在、4G (LTE とも呼ばれている) は 3 大キャリアとも人口カバー率 99%となっており、過疎地以外はカバーしており 3G でつながることはまれになっています。スマホがつながっている種類は画面左上に表示されています。5G は 2020 年のオリンピック開催までに商用化することで進められています。